

平成29年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>①将来の目標を持たせ、生徒の能力を最大限に伸ばす。 ②自立の精神を培い、望ましい社会性を養う。 ③多様な生徒へのきめ細かな対応を組織的に行う。 ④創立100周年記念行事の準備を計画的に行い、次年度の円滑な実施に備える。 ⑤PTA、同窓会及び地域との連携を深め、開かれた学校づくりを推進する。 ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスを徹底する。 ⑦円滑な教育活動が推進できるよう、教職員の健康維持に配慮した体制を構築する。</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>総務</p>	<p>①広報活動の充実 ②防災意識の向上 ③学校と保護者の協力体制の充実 ④創立100周年に向けた事業の推進。</p>	<p>・HP掲載手順の明確化 ・防災教育の研究と実践 ・PTAの情報交換を密にする。 ・PTA、同窓会との連携。</p>	<p>・HP掲載手順の明確化を行い、スムーズに更新できるようになった。 ・大規模災害を想定した避難訓練を実施した。また、あいちシェイクアウト訓練にも全校で参加した。 ・PTAの役員会、理事会を通して、学校の指導についての理解を得るよう心がけた。 ・100周年記念行事の日程と講演者が決定した。来年度に向け、式典運営を含む校内業務の割振りをすすめる。</p>
<p>学習指導</p>	<p>①65分授業の充実 ②個々の生徒に応じた学習指導の確立</p>	<p>・1人1人の教員が自己の教科指導力を向上させ、授業改善を図る。 ・多様化する生徒に対応しつつ、生徒が主体的に学習する姿勢を育てる。</p>	<p>・11月に生徒に対して授業の感想に関するアンケートを実施し、各教員が自身の授業を振り返る機会を設け、さらなる授業改善の一助としている。 ・11月に生徒の実態調査を実施し、生徒の学習状況を把握し、今後の指導の方針を決めるのに生かしている。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立 ②安全確保の推進 ③規範意識の醸成 ④教育相談の推進 ⑤いじめ防止対策の推進</p>	<p>・欠席、遅刻、早退の理由を把握し、適切な指導を行う。 ・生徒の安全を考え、組織的に対応する。 ・生徒に交通安全に対する意識を高めさせる。 ・予防的な教育相談活動に取り組む。 ・公共でのマナーの意識を高めさせる。 ・あいさつを励行 ・高校生らしい身だしなみを日常的に意識させるようにする。 ・不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応を図る。 ・いじめの未然防止に係る取組を行なう。</p>	<p>・遅刻防止についてクラスに呼びかけ、朝の立番指導では、余裕なく登校する生徒に対して指導を行ない、遅刻防止を働きかけた。 ・不審者情報の周知、盗難などからの自己防衛、生徒交通委員による街頭指導や駐輪指導、交通マナー遵守の呼びかけを行なった。 ・防犯に対する意識が甘く、また、自転車マナーの悪さなど自分の身の安全を確保する意識の向上を図りたい。 ・あいさつの呼びかけ、高校生らしい身だしなみ、公共の場でのマナーについて集会時などを利用して繰り返し注意している。 ・指導してすぐに改善されるものでもなく、根気よく繰り返し指導し、マナーの向上を図りたい。 ・生徒観察や保健室利用状況、アンケート等により各学年や保健部・SCと連携をとって配慮を必要とする生徒の把握・対応を行なっている。 ・個々に状況が異なるため、個に応じた対応を心がけた。 ・生徒観察やいじめアンケートの実施により早期発見の一助としている。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見、適切な対応につながる方策をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未然防止の方策を検討し、SNS上の表面化しない、いじめの把握方法を考えたい。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ①進路選択能力の育成 ②進路に応じた進路設計 ③進路目標の堅持と幅広い視野の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・面談、進路相談の充実 ・適切な資料提示 ・進路検討会・入試情報交換会の充実 ・入試制度改革への対応準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路検討会・学年進路検討会等を通して情報を共有し、その情報を元に担任面談を実施した。実力考査ごとの進路アンケートを通して、進路目標や家庭学習の時間を把握し、指導に生かした。 ・適切な時期における進路情報の発信と、先を見通した進路指導に努めた ・進路を早期に限定して自ら進路の幅を狭めないよう、適切な指導を加えるように努めた。
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> ①部活動の充実 ②生徒の力で作り上げる生徒会行事 ③伝統の継承と発展 	<ul style="list-style-type: none"> ・部顧問会議と部長会議を有効活用する。 ・生徒会執行部を中心とした指導体制の確立。 ・生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。 ・伝統の継承が、旧套墨守にならないようにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各顧問の指導のもとに活発な活動が行われ、多くの部活動が県大会に出場した。また学習時間の確保のため、顧問有志による下校指導を行い、規定の時間には下校させるよう努めた。 ・生徒会執行部・各実行委員長を中心とし、運動文化両委員会の活動のもとに、クラスマッチ・学校祭を企画・実施することができた。まだ生徒が指示を待つことが多く、積極的に意見を出し合い、よりよいものを作り上げることができる関係を構築させたい。 ・体育祭でのマスコット製作や応援の振り付け等で上級生から下級生へ、また、卒業生から在校生へと指導がされ、伝統が継承されている。
学校図書館	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館の利用機会、利用者数の増加 ②図書館の環境整備 ③視聴覚室の機器の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、LTでの図書館利用をよびかけ、広報活動、図書委員会の活動を充実させる。 ・利用しやすいよう館内の環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「図書館たより」「新着図書案内」「図書館報」を定期的に発行し、情報発信に努めている。不読の傾向は図書館だけの活動では改善できないため、全校レベルでの取り組みを考えたい。 ・図書館行事（オリエンテーション、ビブリオバトル、蔵書点検、古本バザー等）も順調に進められた。 ・蔵書数の少ない分野に関わる教科に、優先的に予算を割り当てて図書を購入した。
学校保健	<ul style="list-style-type: none"> ①美化活動の充実 ②環境問題取り組みの充実 ③保健・安全教育の充実 ④保健安全指導の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃・特別清掃を充実させる。 ・ゴミの減量・分別、古紙回収を徹底させる。 ・生徒保健委員会活動の充実 ・心身の健康や安全指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃は教員・生徒の協力により活動ができている。特別清掃（校内外の美化活動、スノコ清掃、グラウンド側溝清掃）も予定通り実施できた。 ・ゴミ分別は全校生徒にプリントを配布し、回収場所に清掃当番生徒と保健委員生徒が毎日立つことで徹底した。 ・生徒保健委員会で、水道水の水質検査、各種予防ポスター・保健だより作成などを行った。6月には、部活動代表者や群団代表者を対象とし、熱中症予防、AED利用などの安全講習会を実施した。 ・生徒の心身の問題を早期発見・把握するため、担任を中心とする健康観察の充実や、学年会との情報交換を密に行った。また、スクールカウンセラーを中心にした教育相談の充実を図っている。

SSH	<p>① 1、3年で実施する課題研究の充実</p> <p>②SSH事業の客観的事業評価の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 探究心、論理性、コミュニケーション力の向上を目指した指導を実践する。 教員間の情報交換を密にする。 個人レベルの変容を把握する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年課題研究、3年課題研究の教材の整備を行った。1年は、指導の流れやルーブリックの評価項目を改善し、3年は指導マニュアルを作成した。3年時の指導を充実したものにするため、全体での発表会では2年生も聴衆として参加させた 教員研修会の実施回数を増やし（昨年度1回、本年度3回）充実を図った。現在、教材の公開に向けて準備中である。
ファッション創造科	<p>①専門的知識・技術の習得</p> <p>②思考力・判断力・実践力の育成</p> <p>③地域社会に貢献する人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ファッションや保育に関する専門的知識・技術を習得させる。 自ら考え判断し、実践する力を育成する。 地域社会が求める資質や能力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各コースの専門性を向上させるための基盤作りに努めている。 各コースとも作品のデザインを考える上で豊かな創造力・実践力の育成を図っている。保育の校外実習の体験は、実践力を養う点で大変勉強になっている。 インターンシップ、一宮市主催の繊維振興学生視察事業、おいちまつりのファッションショー参加など地域社会に貢献する人材の育成に努めている。今年度は中学校の教職員向け学科説明会を行い、広報活動として学科の特色やコンテスト結果の功績などを中学校や地域へ発信するように努めた。
1年	<p>①基礎学力の涵養と発展的な思考への意欲の育成</p> <p>②学習、特別活動における仲間と切磋琢磨する経験</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学習法の設定 人間関係の構築 学びの環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の育成については、課題、土曜講座、長期休暇の補習等により、着実に進めることができた。発展的な思考については、SSH課題研究の秋の発表に向け、自分で課題を見つけて考えていくという経験を深めさせている。 学校祭、クラスマッチなどに積極的に参加し達成感を得ている。家庭での学習時間の確保し部活動などとのバランスを取らせることに努めたい。また、入学前の描いていた理想と現実の差に悩む生徒に適切な助言を与え、目標を持たせるよう指導したい。
2年	<p>①基礎学力を土台とし、将来の進路を考えた「学ぶ力」の充実と深化</p> <p>②学校の中核としての意識と、諸活動への積極的な取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学習できる状況の充実 生徒の学力に応じた学習指導 進路の探求と自分を高めることができる目標の設定 学校を支える2年生としてのコミュニケーション力の涵養 	<ul style="list-style-type: none"> 文理の類型に分かれたクラス編成となり、個々の生徒が将来の夢に向けて、悩みながらも一歩ずつ進もうという姿勢を感じる事ができた。 修学旅行や学校祭での経験を経て、責任ある自主的な行動の大切さをより意識できるようになった。一方、学習面、部活動、行事との関わり方、など自分の立ち位置に迷いを感じ、悩む生徒が皆無ではなく、今後も生徒の立場で寄り添って指導していく。
3年	<p>①進路目標における自己実現</p> <p>②社会人としての自律</p> <p>③社会的リーダーとしての自覚</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学力、思考力、表現力の向上 高い進路目標とキャリア設定 教養、社会性の育成 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導や学習指導を通して、すべての先生方で生徒情報を共有しつつ努力している。 一部の生徒だが、初めての国政選挙を経験したことも意識を高める良い機会となった。 進路選択において、この観点の重要性に気付かせられるようにしたい。

総合評価

前年度の評価結果に基づいて、伝統を継承しつつ細かな改善を積み重ねており、学校全体として着実に前進している。来年度はSSHの新たなプログラムも始まり、今後の大学入試改革や指導要領改訂に向けて、さらに新たな課題の検討を進めていく必要がある。